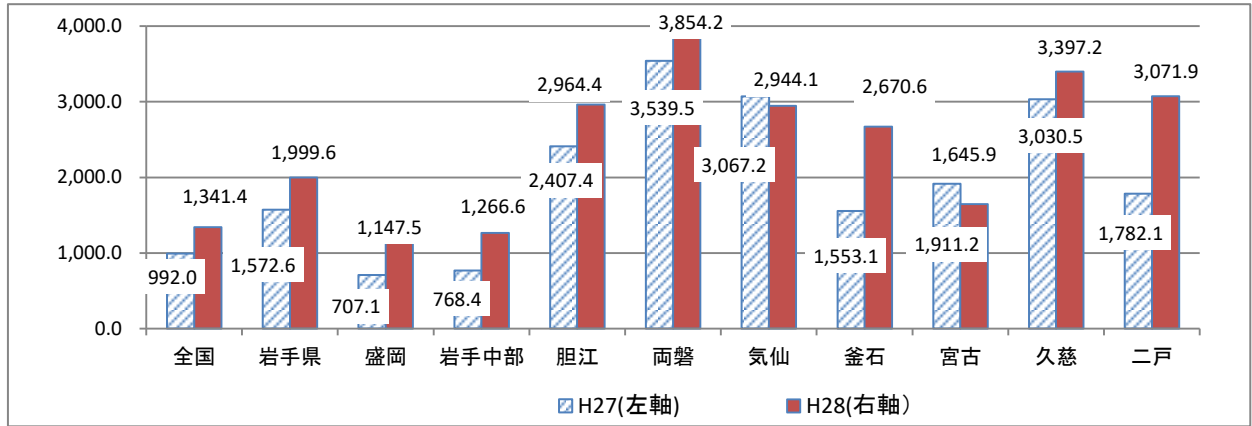


岩手県の在宅医療の状況について

※ 全国、圏域別の比較のため、断りがない限り、全て人口10万人あたりの数値であること。

1 退院支援を受けた患者数

全国、岩手県共に増加傾向にあり、釜石や二戸圏域において大きく増加している。
(平成28年度診療報酬改定により退院支援加算が充実化したことが影響している可能性。)

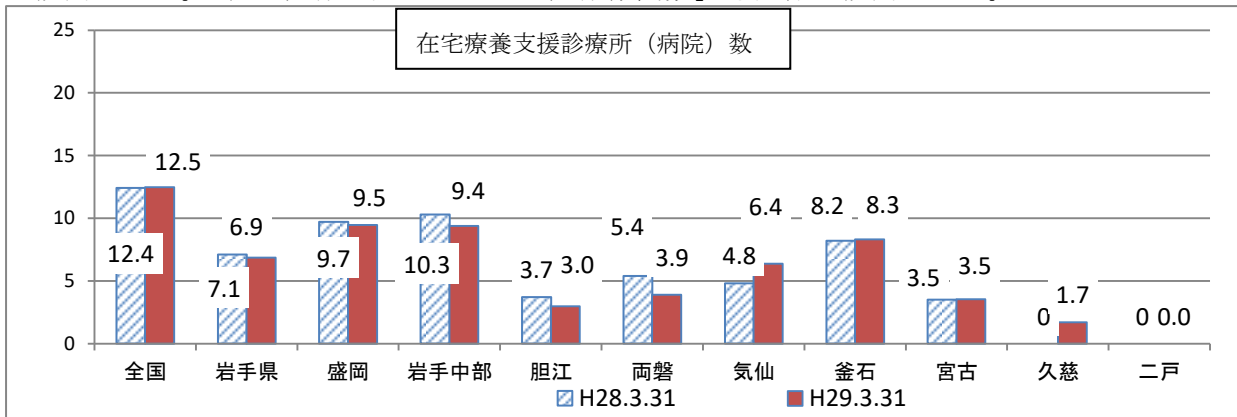


出典：医療計画作成支援データブック (NDB)

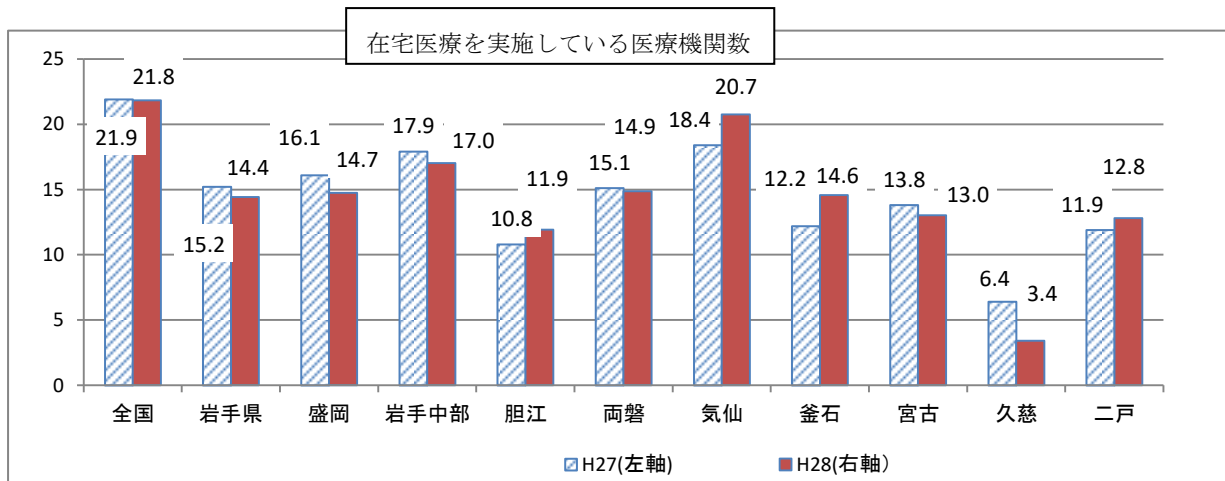
2 訪問診療の状況

(1) 在宅療養支援診療所(病院)数及び在宅医療を実施している医療機関数

「在宅療養支援診療所(病院)数」は、全国ではほぼ横ばいであるが、岩手県全体では減少傾向である。「在宅医療を実施している医療機関数」も同様の傾向である。



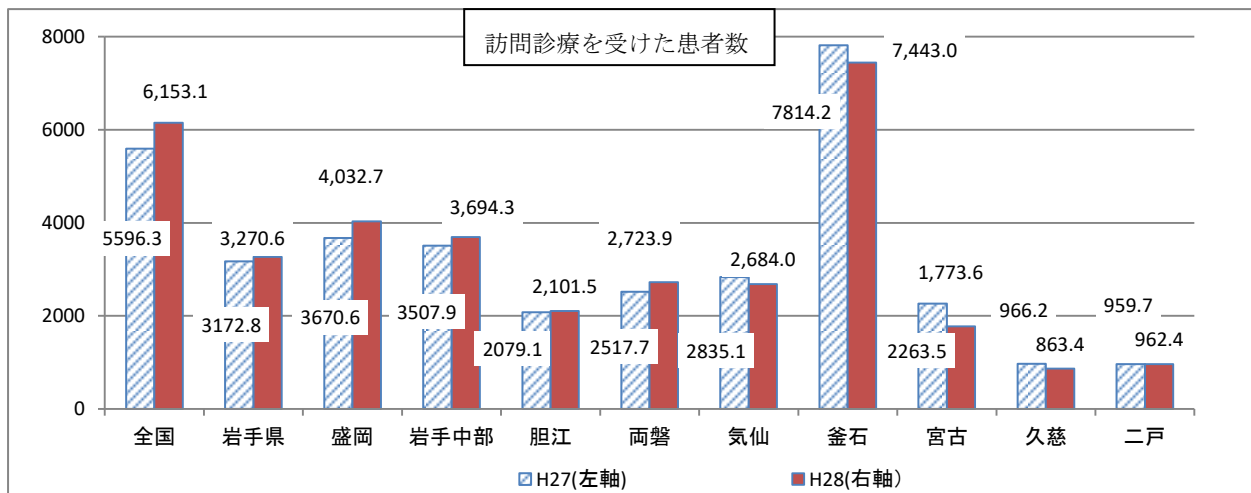
出典：診療報酬施設基準



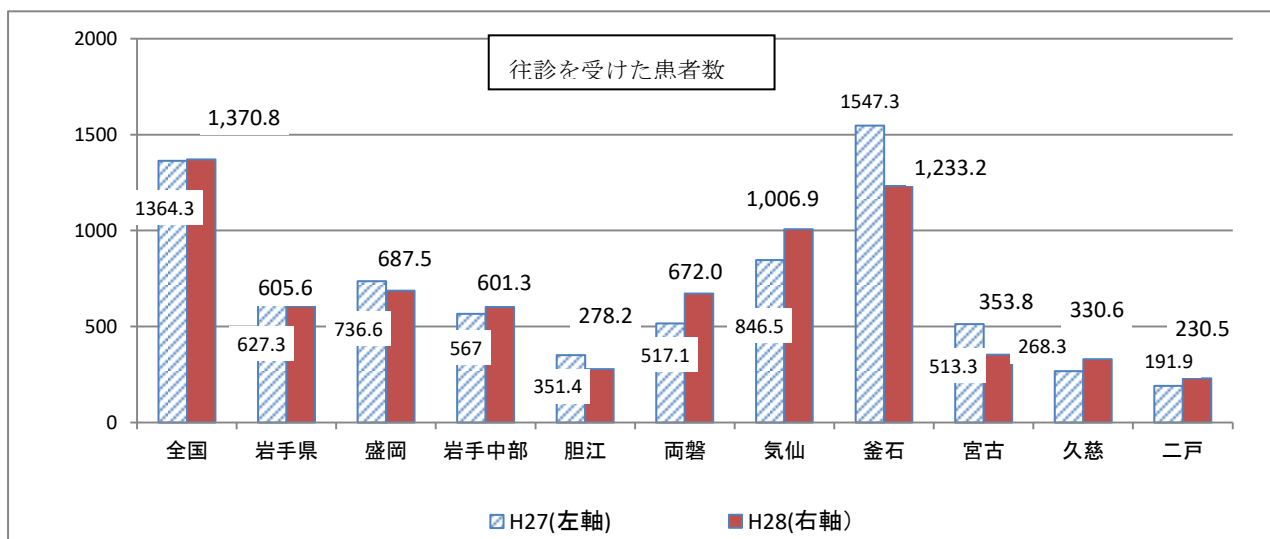
出典：医療計画作成支援データブック (NDB)

(2) 訪問診療を受けた患者数、往診を受けた患者数

「訪問診療を受けた患者数」は増加傾向、「往診を受けた患者数」は、ほぼ横ばいにある。いずれも実施状況は全国の半分程度の水準となっている。いずれも釜石圏域は多い。



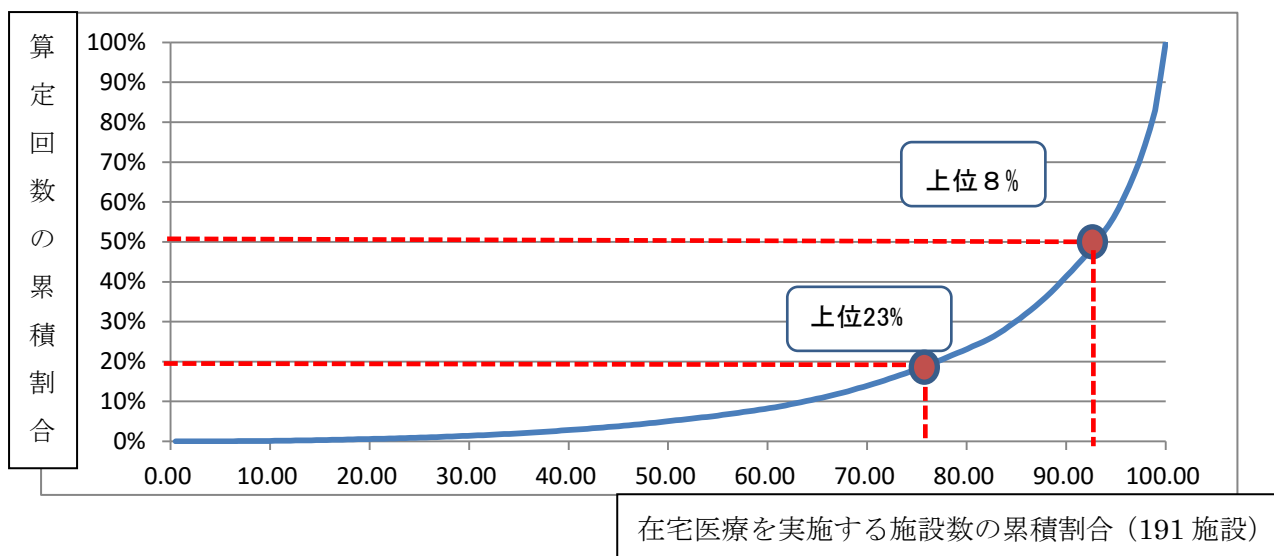
出典：医療計画作成支援データブック（NDB）



出典：医療計画作成支援データブック（NDB）

【参考】訪問診療を実施する医療機関の状況について

- 訪問診療を受けた患者数は増加傾向にあるものの、訪問診療を実施する病院・診療所数については減少傾向にある。
- 奈良県のレセプト分析では、上位4%の医療機関が訪問診療の50%を担い、上位10%の医療機関が訪問診療の80%を担っているなど、在宅医療の担い手は一部の医療機関に集中していることを指摘している。
- 岩手県の現状について
 算出条件：H27 国保・後期高齢者レセプト
 抽出条件：在宅患者訪問診療料の算定回数及び算定施設
 結果：上位8%の医療機関が訪問診療の50%を担い、上位23%の医療機関が訪問診療の80%を担っている。（奈良県とは在宅医療レセプトの算出条件が一部異なるため単純比較はできない。）



3 訪問看護関係

(1) 訪問看護ステーション数及び従事者数

全国、岩手県共に訪問看護ステーション数及び常勤換算後従事者数は増加しているものの、岩手県は、従事者数よりも事業所数の増加が大きく、訪問看護ステーションあたりの従事者数は減少している。

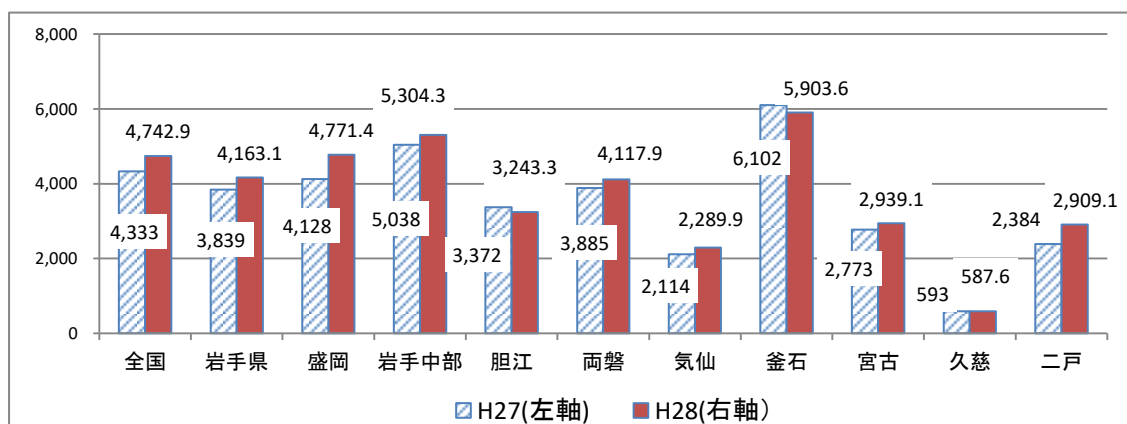
年度	訪問看護ステーション数		常勤換算後従事者数 (保健師・助産師 ・看護師・准看護師)		訪問看護ステーションあたり従事者数	
	全国	岩手県	全国	岩手県	全国	岩手県
H28	8,719 (6.9)	89 (7.0)	41,628 (32.8)	375 (29.6)	4.8	4.2
H29	9,445 (7.5)	100 (8.0)	46,856 (37.0)	402 (32.0)	5.0	4.0

※上段は実数、下段の () 内が人口 10 万人あたりの数値であること。

出典：介護サービス施設・事業所調査

(2) 訪問看護利用者数

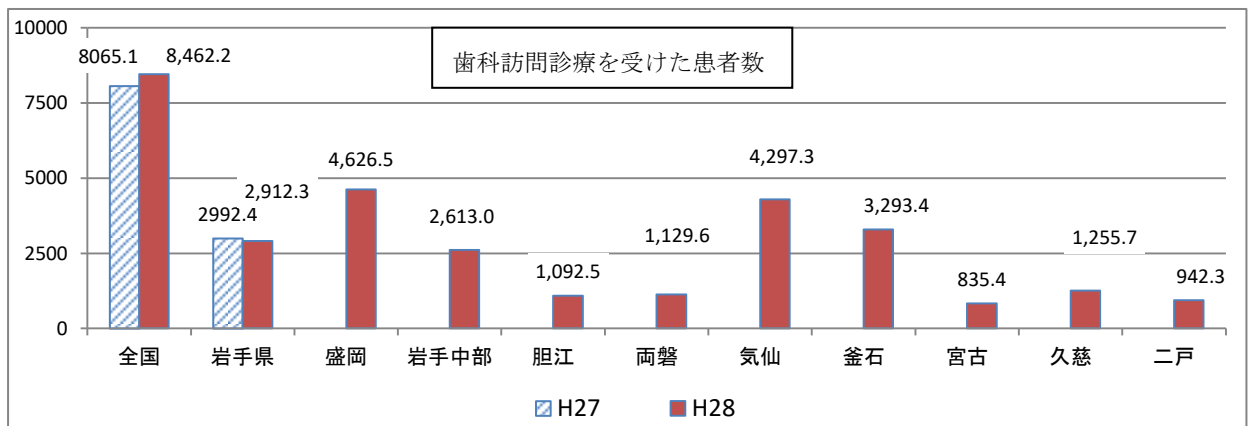
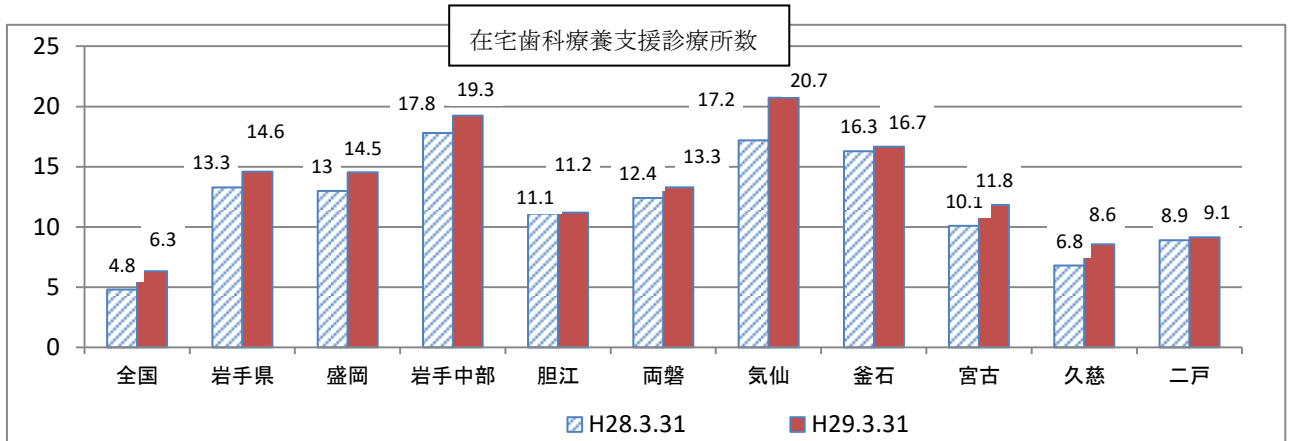
全国、岩手県共に増加傾向であり、圏域別に見ても増加している地域が多い。



出典：医療計画作成支援データブック (NDB)、介護事業状況報告

4 歯科訪問診療の状況

「在宅歯科療養支援診療所数」は、全国を大きく上回る状況となっているものの、「歯科訪問診療を受けた患者数」については、全国の半分以下の水準となっている。

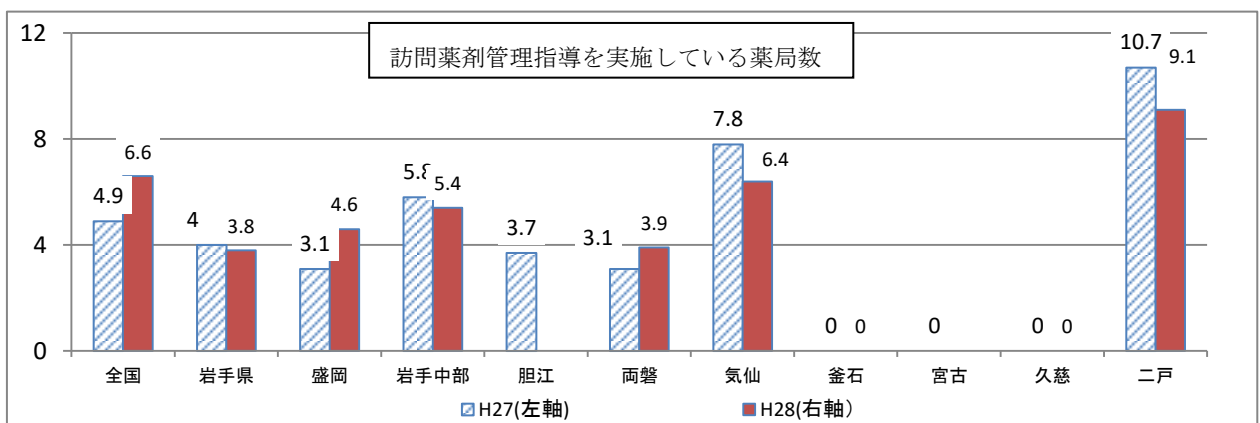


出典：診療報酬施設基準、NDB オープンデータ、医療計画作成支援データブック（NDB）

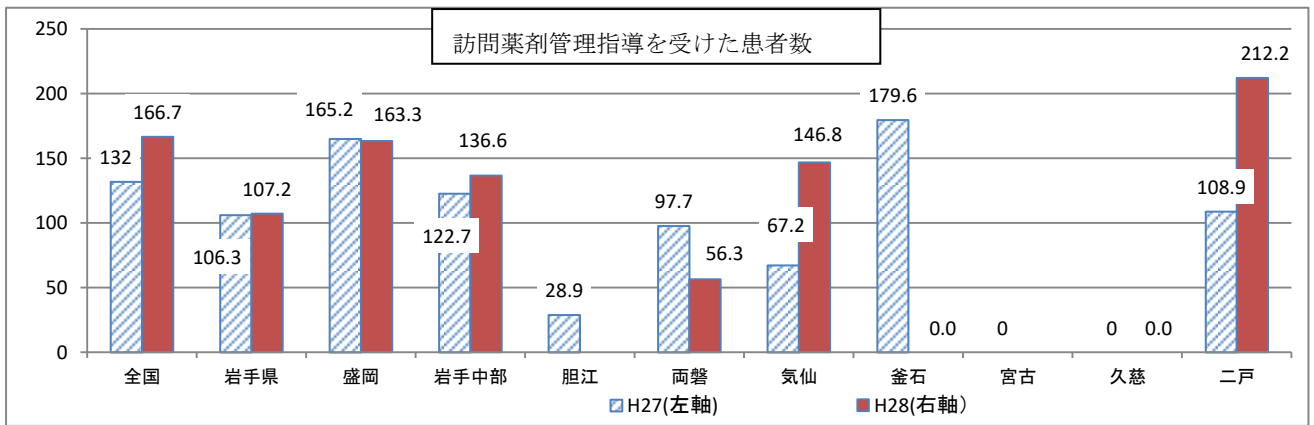
※「歯科訪問診療を受けた患者数」のH27は圏域別のデータがないこと。

5 訪問薬剤管理指導の状況

「訪問薬剤管理指導を実施している薬局」及び「訪問薬剤管理指導を受けた患者数」のいずれも全国を岩手県は下回るものの、二戸圏域のみ、全国を上回る状況となっている。



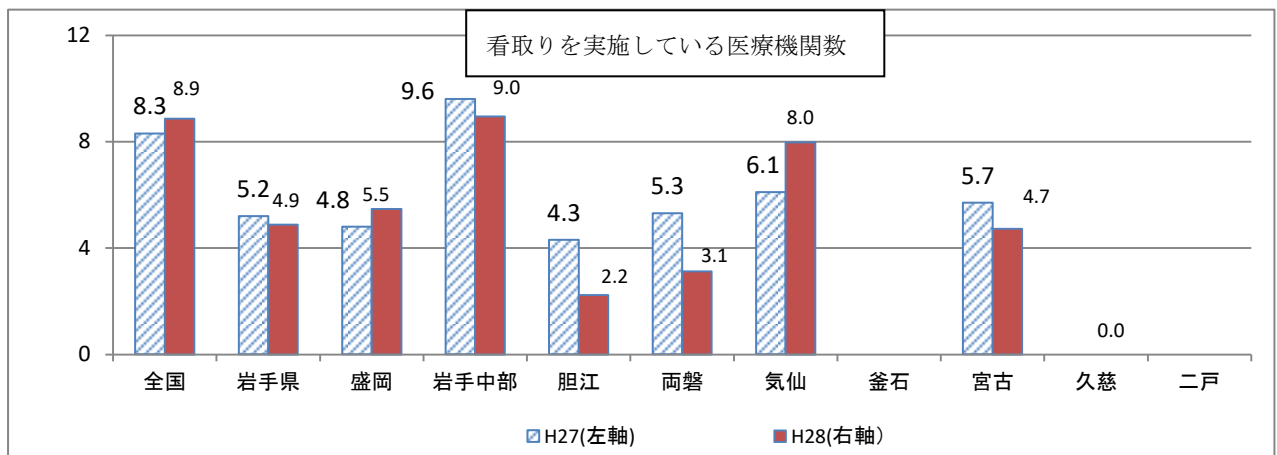
出典：医療計画作成支援データブック（NDB）



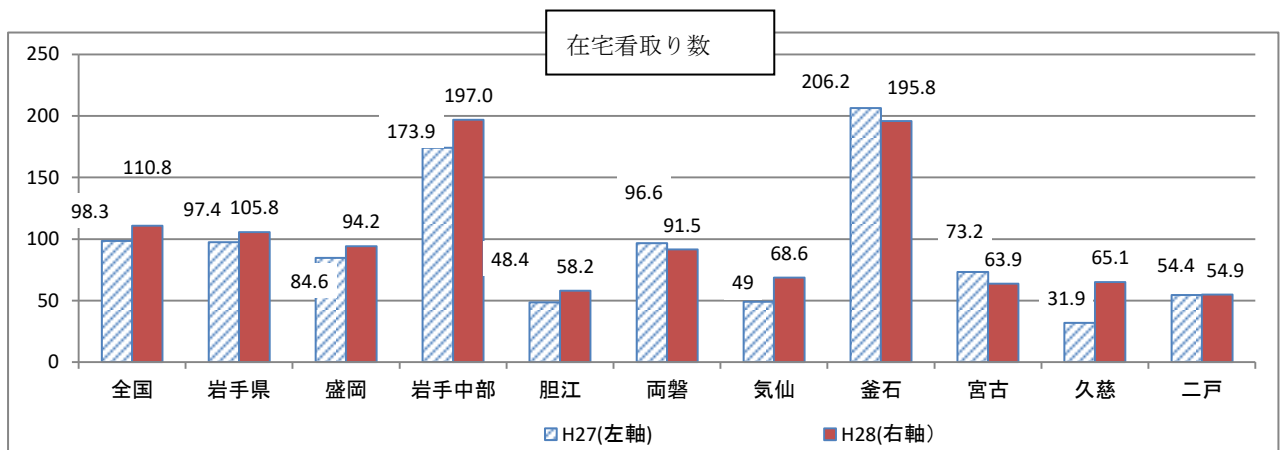
出典：医療計画作成支援データブック（NDB）

6 在宅看取りの状況

「看取りを実施している医療機関数」は全国に比べ半分程度となっているものの、「在宅看取り数」は全国とほぼ同水準となっていること。圏域では、岩手中部、釜石圏域が多い。



出典：医療計画作成支援データブック（NDB）



出典：医療計画作成支援データブック（NDB）